

パーキンソン病に対する音声療法 「LSVT LOUD」の紹介

当院では2021年より、パーキンソン病に対する音声療法である「LSVT LOUD」が実施できるようになりました。「LSVT LOUD」は、米国のRamingによりパーキンソン病の発話明瞭度を改善する目的で開発されました。「LSVT LOUD」は薬と同等のレベル1のエビデンスが証明されています。

研究ではHoehn & Yahr 1-4のパーキンソン病の方をはじめ、パーキンソン症候群の方、脳血管疾患の方等に対して幅広く効果が報告されています。

「LSVT LOUD」は声量低下（声の小ささ）をターゲットにしています。声の大きさのみにターゲットを絞り、集中的に高い努力を促すことで、正常で大きな声を経験していきます。さらに、日常生活を想定した常套句の練習や生活場面で大きな声を出していただく自主練習を毎日行うことで、日常生活でも自然に大きな声が出せるようにしていきます。

LSVT LOUDのプログラム

- LSVT LOUDの認定を受けたセラピストとの個別練習
- 1週間に4日間の治療を4週間実施します（合計16回）
- 1回の練習は1時間
- 毎日自宅での効果持続のための自主練習課題を行います



一緒に大きい声を出しましょう！！

LSVT LOUD®

- ★ 診察の際にご興味のある方は、診療の際に主治医に相談をお願い致します。
- ★ 上記の内容で何かありましたら、リハビリテーション部 岡崎 までお声掛けをお願いします。